




# I-FAX ガイド

## 注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

<b>重要</b>	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
<b>お願い</b>	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	有益なヒントや補足情報を示しています。
<b>太字</b>	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[あいうえお]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

## 商標

Adobe®および Reader®は、米国および/またはその他の国におけるアドビシステムズ社の登録商標または商標です。

本ガイドに記載されているソフトウェアの各社は、各プログラムに固有のソフトウェアライセンス契約を有しています。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

## 著作権

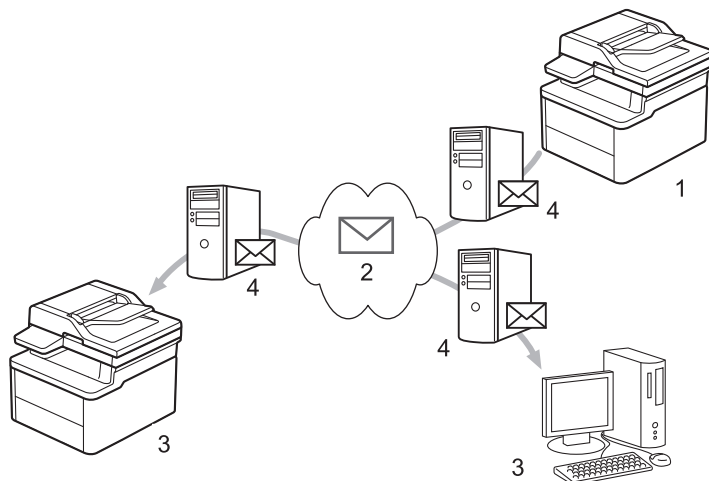
本文書の情報は予告無く変更することがあります。本文書に記載されているソフトウェアは、ライセンス契約の下に提供されています。ソフトウェアは、これらの契約条項に従ってのみ使用またはコピーできます。本文書のいかなる部分も、ブラザー工業株式会社の書面による事前の許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。

## 目次

インターネットを使用したファクス (I-Fax) .....	1
インターネットファクス (I-Fax) に関する重要事項 .....	2
E メールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する .....	3
E メールまたはインターネットファクス (I-Fax) の初期設定 .....	4
本製品によるインターネットファクス (I-Fax) の受信方法 .....	5
受信した I-FAX をパソコンに表示させるには .....	6
インターネットファクス (I-Fax) を送信する .....	7
サーバーに手動でポーリングする .....	8
I-FAX オプション .....	9
受信 E-mail とファクスメッセージを転送する .....	10
同報送信をリレーする .....	11
本製品から同報送信をリレーする .....	12
お使いのパソコンから同報送信をリレーする .....	14
インターネットファクス (I-Fax) 検証メール .....	15
TX 確認メールの送信通知を有効にする .....	16
TX 確認メールの受信通知を有効にする .....	17
I-Fax のエラーメール .....	18

## インターネットを使用したファクス (I-Fax)

インターネットファクス (I-Fax) を使用すると、インターネットを使用してファクス文書を送受信することができます。文書は、添付 TIFF-F ファイルとして、Eメールで送信されます。お使いのコンピュータに TIFF-F ファイルの生成と閲覧に対応したアプリケーションがインストールされていると、文書の送受信が可能です。いずれの TIFF-F ビューアプリケーションも利用可能です。本製品を介して送信された文書は、自動的に TIFF-F 形式に変換されます。本製品とメッセージを送受信するには、お使いのコンピュータの Eメールアプリケーションが Multipurpose Internet Mail Extensions (MIME) をサポートしている必要があります。



1. 送信者
2. インターネット
3. 受信者
4. Eメールサーバー



I-Fax では、レターまたは A4 サイズ、およびモノクロの原稿の送受信のみをサポートしています。

## インターネットファクス (I-Fax) に関する重要事項

LAN 上での I-Fax 通信は、E メールによる通信と非常によく似ていますが、通常の電話回線を使ったファクス通信とは異なります。I-FAX を使用する際には、以下の内容を必ずお読みください。

- 受信者の場所、LAN の構造、回線（インターネットなど）の混み具合などの要因により、エラーメールの送信に通常より時間がかかることがあります。
- 機密文書を送信する場合は、（セキュリティレベルが低いため）インターネットではなく、一般的な電話回線を使用することをお勧めします。
- 受信側のメールシステムが MIME に対応していない場合、I-FAX で文書を送信することはできません。可能であれば事前に確認してください。また、サーバーによってはエラー返信をしない場合もありますのでご注意ください。
- I-FAX で送信する文書が大きすぎる場合、受信者に届かないことがあります。
- 受信したインターネットメールの文字のフォントや大きさを変更することはできません。

## E メールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する

I-Fax を使用する前に、本製品がネットワークおよびメールサーバーと通信できるように設定します。これらの設定は、本製品の操作パネルまたは Web Based Management から行うことができます。本製品で次の情報が設定されている必要があります。

- IP アドレス (すでに本製品をネットワーク上で使用している場合は、本製品の IP アドレスは正しく設定されています。)
- E メールアドレス
- SMTP、POP3、IMAP4 サーバーアドレス/ポート/認証方式/暗号化方式/サーバー証明書の検証
- メールボックス名とパスワード

ご不明な点は、システム管理者にお問い合わせください。

### ✓ 関連情報

- [E メールまたはインターネットファクス \(I-Fax\) の初期設定](#)
- [受信した I-FAX をパソコンに表示させるには](#)

## Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) の初期設定

I-Fax を送信する前に、操作パネルまたは Web Based Management を使用して、以下のオプション項目を設定します。

- メールタイトル
- スキャン to Eメール 文書
- サイズ制限
- 受信確認要求を行う

ご不明な点は、システム管理者にお問い合わせください。

### ✓ 関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する
  - 本製品によるインターネットファクス (I-Fax) の受信方法

## 本製品によるインターネットファクス (I-Fax) の受信方法

本製品が着信 I-Fax を受信すると、I-Fax が自動的に印刷されます。I-Fax を受信するには、操作パネルまたは Web Based Management を使用して、次のオプション項目を設定することをお勧めします。

- 自動受信
- ポーリング間隔
- ヘッダー印刷
- エラーメール削除/既読
- 受信確認通知を行う

Eメールの受信方法は2通りあります：

- 通常間隔での POP3/IMAP4 受信
- 手動開始の POP3/IMAP4 受信

POP3/IMAP4 受信を使用している場合、本製品はお使いの Eメールサーバーにポーリングしてデータを受信します。ポーリングは設定した間隔で発生させたり（例えば、10 分間隔で Eメールサーバーにポーリングするよう製品を設定できます）、サーバーに対して手動で実行したりできます。



- 本製品が Eメールの受信を開始すると、液晶ディスプレイに「受信中」が表示されます。Eメールは自動的に印刷されます。
- データを受信したときに用紙切れの場合、受信データは本製品のメモリーに保持されます。このデータは、用紙が用紙トレイにセットされると自動的に印刷されます。
- 本製品のファクス一時バックアップ機能をオンにすると、受信データが一定期間保存されます。
- 受信メールがプレーンテキスト形式ではない場合、または添付ファイルが TIFF-F 形式ではない場合は、「添付ファイルのフォーマットは使用できません。」というエラーメッセージが印刷されます。
- 受信メールのサイズが大きすぎる場合は、「ファイルサイズが大きすぎます。」というエラーメッセージが印刷されます。
- **エラーメール削除/既読がオン**（初期値）の場合、エラーメールが Eメールサーバーから自動的に削除されます。

### ✓ 関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) の初期設定

---

▲ホーム > Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する > 受信した I-FAX をパソコンに表示させるには

## 受信した I-FAX をパソコンに表示させるには

パソコンが I-Fax 文書を受信すると、文書は E メールに添付され、「件名」欄に、E メールサーバーが I-Fax を受信したことが通知されます。本製品が電子メールサーバーをポーリングするのを待つか、または手動で電子メールサーバーをポーリングして、着信データを受信することができます。

### 関連情報

- Eメールまたはインターネットファクス (I-Fax) 用に本製品を設定する
-



## インターネットファクス (I-Fax) を送信する



I-Fax の送信は、通常のファクスの送信と同様です。受信者の情報が、お使いの E メールアドレス帳に保存されていることを確認し、I-Fax で送信する原稿を本製品にセットします。



- 原稿の送信先パソコンで Windows Server 2016/2019/2022、Windows 10、または Windows 11 が動作していない場合、TIFF ファイルを表示できるソフトウェアをパソコンの所有者にインストールしてもらいます。
- 複数のページを送信する場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用します。


手順はお使いのモデルによって異なる場合があります。

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
  - みるだけ受信が [しない (受信したら印刷)] に設定されている場合は、[ファクス] を押します。
  - みるだけ受信が [する (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] を押したあと、[ファクス送信] を押します。
3. ファクス送信設定を変更するには、 [設定変更] を押します。
4. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して、ファクス設定値をスクロールします。変更対象の設定値が表示されたら、それを押して変更後の値を選択します。設定の変更が終了したら、[OK] を押します。（[OK] ボタンが表示された場合。）
5. 次のいずれかを行ってください：
  -  を押し、画面で E-mail アドレスを入力して、[OK] を押します。
  - [電話帳] を押し、受信者の E-mail アドレスを選択して、[送信先に設定] を押します。
6. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。原稿はスキャンされると、SMTP サーバー経由で受信者に送信されます。スキャン中に  を押すと、送信操作をキャンセルすることができます。
7.  を押します。

## サーバーに手動でポーリングする

手順はお使いのモデルによって異なる場合があります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Eメール/IFAX] > [手動受信] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。


2. [はい] を押して確認します。
3. 画面に [受信済] と表示され、本製品は E-mail サーバーから送られたデータを印刷します。

## I-FAX オプション


- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する
- 同報送信をリレーする
- インターネットファクス (I-Fax) 検証メール


## 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

本製品の I-Fax 機能を使用して、E メールや一般的なファクスメッセージを、他のパソコン、ファクス機、または別の I-Fax 製品に転送します。本製品の操作パネルを使用して、転送機能を有効にします。

 手順はお使いのモデルによって異なる場合があります。

操作パネルを使用して、E-mail 転送を有効にする手順：

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信] > [ファクス転送] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 次のいずれかを行ってください：
  - [手動入力] を押して、画面から受信者のファクス番号（最大 20 桁）または E メールアドレスを入力します。  
[OK] を押します。
  - [電話帳] を押します。  
上または下にフリックするか、▲または▼を押して、転送先のファクス番号または E メールアドレスが表示されるまでスクロールします。  
転送先のファクス番号または E メールアドレスを押します。
3. E-mail アドレスを選択した場合は、必要なファイル形式を選択します。

 [本体でも印刷する] を押して本製品で受信ファクスを印刷すると、コピーを作成できます。

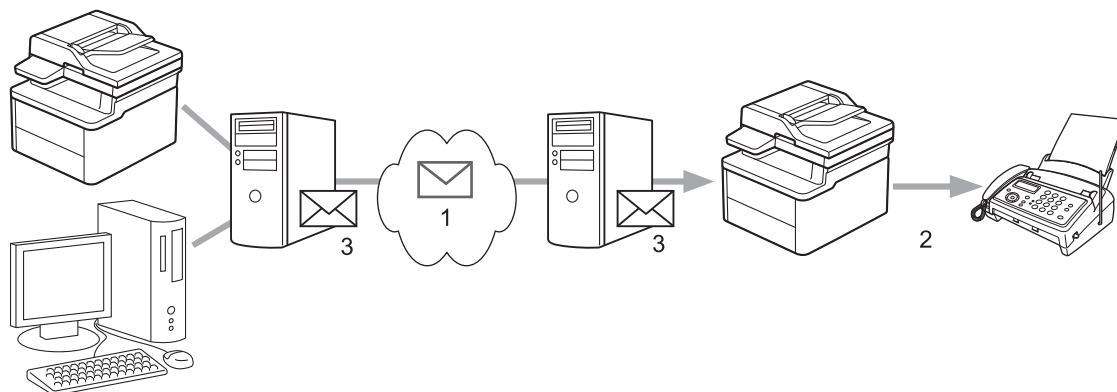
4.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [I-FAX オプション](#)

## 同報送信をリレーする

リレー同報送信では、本製品がインターネットを介してメッセージを受信し、従来の電話回線を使用して別のファクス機にメッセージを中継します。遠隔地や海外に文書をファクスする必要がある場合、リレー同報送信機能を使用して通信費を節約することができます。



1. インターネット
2. 電話回線
3. Eメールサーバー

本製品の操作パネルまたは Web Based Management を使用して、次の項目を設定します：

- **リレー許可**  
リレー許可を **オン** に設定します。
- **許可ドメイン**  
ファクス機に原稿を同報送信する製品に、本製品のドメイン名を設定します。本製品をリレー同報送信機器として使用する場合は、信頼できるドメイン名（「@」記号より後ろの部分）を本製品で指定する必要があります。信頼できるドメインは慎重に選択してください。
- **リレー配信レポート**  
本製品がリレー同報送信を完了した後の、レポート印刷の有無を指定します。

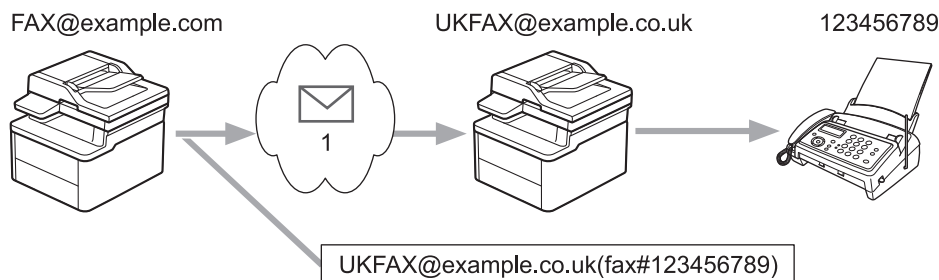
### ✓ 関連情報

- [I-FAX オプション](#)
  - [本製品から同報送信をリレーする](#)
  - [お使いのパソコンから同報送信をリレーする](#)

## 本製品から同報送信をリレーする

リレー同報送信機能を使用して、本製品からファクス機に E メールを送信します。



Web Based Management で **POP3/IMAP4/SMTTP クライアント** および **SMTTP サーバー** チェックボックスがオンになっていることを確認します。**POP3/IMAP4/SMTTP クライアント** および **SMTTP サーバー** チェックボックスがオンになっていない場合は、**POP3/IMAP4/SMTTP クライアント** および **SMTTP サーバー** チェックボックスを選択します。**OK** をクリックして、本製品を再起動します。



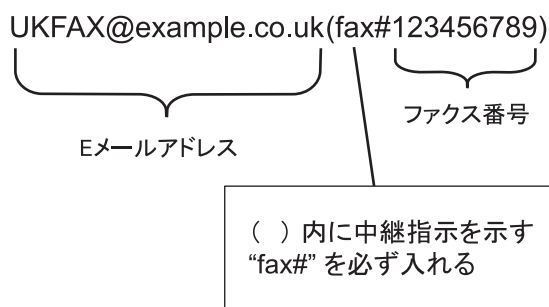
### 1. インターネット

この例では、本製品の E メールアドレスは FAX@example.com であり、原稿を本製品から、E メールアドレスが UKFAX@example.co.uk の、イギリスの一般的なファクス機に送信します。また、送信には従来の電話回線が使用されます。

**手順はお使いのモデルによって異なる場合があります。**


1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
  - みるだけ受信が [しない (受信したら印刷)] に設定されている場合は、[ファクス] を押します。
  - みるだけ受信が [する (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] を押したあと、[ファクス送信] を押します。
3.  [設定変更] を押します。
4. 上下にフリックするか、▲ または ▼ を押して [同報送信] を表示します。
5. [同報送信] を押します。
6. [番号追加] を押します。
7. 以下の方法で、同報送信に E-mail アドレスを追加できます。
  - [手動入力]、 と押し、E-mail アドレスを入力したあと、[OK] を押します。
  - [電話帳から選択] を押します。同報送信に追加する E-mail アドレスのチェックボックスを押します。追加対象すべての E-mail アドレスを選択し、[OK] を押します。
  - [検索して選択] を押します。名前または名前の最初の文字を入力し、[OK] を押します。検索結果が表示されます。名前を押してから、同報送信に追加する E-mail アドレスを押します。

E-mail アドレスと電話番号の入力方法の例を以下に示します。



すべてのファクス番号を入力し、[OK] を押します。



本製品にが表示された場合は、それを押します。

---

8. [スタート]を押します。



### 関連情報

- [同報送信をリレーする](#)
-



## インターネットファクス (I-Fax) 検証メール

- 送信検証メールでは、I-Fax または E メールを受信して処理した受信ステーションからの通知を要求できません。
- 受信検証メールでは、I-Fax または E メールを正常に受信して処理した後、初期設定のレポートを送信ステーションに送信できます。


この機能を使用するには、本製品の操作パネルの、[メール 受信設定]で[受信確認]を、[メール 送信設定]で[受信確認要求]を設定します。

### ✓ 関連情報

- I-FAX オプション
  - TX 確認メールの送信通知を有効にする
  - TX 確認メールの受信通知を有効にする
  - I-Fax のエラーメール

## TX 確認メールの送信通知を有効にする

手順はお使いのモデルによって異なる場合があります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Eメール/IFAX] > [メール 送信設定] > [受信確認要求] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [オン] または [オフ] を選択して、送信通知機能を有効または無効にします。  
送信通知がオンの場合、ファクスには、メッセージの配信情報を含む、開封通知 (MDN : Message Disposition Notification) と呼ばれるフィールドが追加されます。お買い上げ時には、送信通知はオフに設定されています。



通知レポートを送信するために、MDN フィールドがファクス受信者の製品でサポートされている必要があります。

3.  を押します。




### 関連情報

- インターネットファクス (I-Fax) 検証メール

## TX 確認メールの受信通知を有効にする

手順はお使いのモデルによって異なる場合があります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Eメール/IFAX] > [メール 受信設定] > [受信確認要求] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 3つの設定オプションの中から1つを押します。

オプション	詳細
受信通知 [オン]	受信通知が [オン] に設定されている場合、テンプレートが送信者に返信され、メッセージの受信と処理が正常に行なわれたことが通知されます。 これらのテンプレートは、送信者が要求した操作により異なります。 例： [成功：(PCのメールアドレス)から受信しました。]
受信通知 [MDN]	受信通知が [MDN] に設定されている場合、発信局が要求確認を [MDN] (開封通知) フィールドに送信していると、受信と処理が正常に行なわれたことを示すレポートが送信者に返信されます。
受信通知 [オフ]	受信通知が [オフ] に設定されている場合、すべての形式の受信通知が無効になり、要求の種類に関わらず、送信者には何も返信されません。



- TX 確認メールを送信するには、送信者が以下の設定を行っている必要があります。
  - [メール 送信設定] の [受信確認要求] を [オン] に切り替えます。
  - [メール 受信設定] の [ヘッダー印刷] を [全て] または [ヘッダーのみ] に切り替えます。
- TX 確認メールを受信するには、受信者が以下の設定を行っている必要があります。
  - [メール 受信設定] の [受信確認] を [オン] に切り替えます。

3.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [インターネットファクス \(I-Fax\) 検証メール](#)

## I-Fax のエラーメール

インターネットファクス (I-FAX) 送信時に配信エラーが発生すると、メールサーバーはファクスを送信した本製品にエラーメッセージを送り、エラーメッセージが印刷されます。

I-Fax 受信時にエラーが発生すると、「**添付ファイルのフォーマットは使用できません。**」などのエラーメッセージが印刷されます。

本製品でエラーメールの受信と印刷を行うには、[メール 受信設定]で、[ヘッダー印刷]を、[全て]または[ヘッダー のみ]に切り替えます。

### ✓ 関連情報

- [インターネットファクス \(I-Fax\) 検証メール](#)

brother

